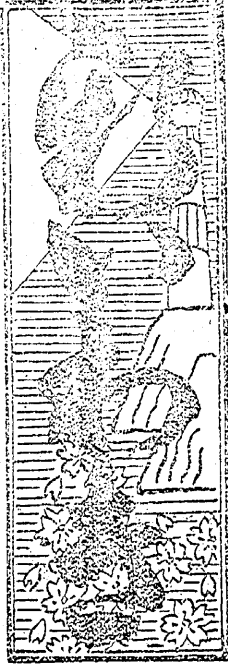


刊夕日九十二八



日一廿月三年五和昭 (日一廿月三年五和昭) 可認物便郵種三第

常識講座

直線美は曲線美に對して云ふ語、婦人の肉線のふくよかなものを指して曲線美と云ふが直線美はそれとは反對に男性の力強い筋肉たくましく武張つた線の美を指して云ふもの

鱈カスの魚肥製造に

革命が來そふな噂

警城水工の後を引受た日食工 事業主体を何に求めるか

小名濱町の警城水工工業會社は資本金百萬圓の拂込額二十五萬圓を十萬圓に減資し十株の拂込額百二十五圓を五十圓の金額拂込に換算整理して現工場敷地外設備建物を負債整理の爲め日本食料工業に九萬圓で賣却し同後の警城水工は魚市場の代行によつて比較的气楽な經營を続けることになつたが同社の後を引受けた日食工業は水工に於ける従前の如く株主の拂込金の大半を人件費に食ひ詰めるが魚市場の代行に際しては従来のものと異り事業主体を何に求められしかか食料加工のみでは餘りに

時間的に目録めよう

産業組合の研究協議

來月二日新舞子の海岸にて 石城郡内の役員を會し

石城郡内産業組合の役員會は九月二日午前九時開會は來る九月二日午前十時から午後四時まで新舞子海岸に開かれる當日は縣農務課員及び信用組合本縣聯合會並びに縣農務、産業組合支會等からも出席の客で主題は期日の勵行と時間の嚴守につき協議されるものゝ如く自ら其の範を示すため約百名を豫定

秋蘭相場は

好歩調

四倉市場昨日の取引一圓五七錢 四倉市場に於ける秋蘭取引は二十六日の開場初日は甚だ活

今朝警城耐火の火災

高度の熱を續けた二晝夜で 三、四尺四方の土まで燃える

石城郡赤井村の警城耐火煉瓦會社工場から今二十九日午前二時五十三分頃出火し焼けた煉瓦の根根十間四方を焼失して同四時過ぎ鎮火し損害は約六十圓で僅少に済んだが火災現場は非常に難儀であつた原因は同工場に於て鐵道機關庫用の耐火煉瓦を造つてゐる同煉瓦は千八百度に耐えるものでなければならぬ爲め二

養母の知らぬ間に

宅地を書替へて逃走

書類を携へ買かけ代を集めて 野菜買ひ出しに出たまゝ

平町字立町九〇番原なみ(六)の養子清原國治(三)は去る二十一日午後六時頃平野村方面へ野菜類を買ひ出しに行つて

娘を親ふ病母の心も

知らず轉々する酌婦

一年前に家出して郷里を忘れ 小名濱町に居た千江子助川へ

宮城縣本吉郡大谷村の三島小野寺の二女(三)は一年前に家出して行方不明であつたが最近に至り石城郡小名濱町某料理店に奉公してゐる風聞あるも郷里では實母の病氣が重態で数日前から食事も攝れず娘(三)に一目會つて死にたいと毎日の様に云はれてゐるので漁夫の實兄小野

母は情夫と共に逃げ

子は主家の金で高飛

北海道を目指した十七の少年 平町に下車して取押らる

平野前を昨二十八日午後十一時頃徘徊してゐる少年の舉動不審のため平野前が取調べる結果同人の両親は七、八年以前を絶えず山狩の人々の業としての往來を窺はれたが素より私

宮田翁の

實話(七)

暗にも困るが明るくても困る私共の一行は兎に角曉になるのを待たうと云ふので山路を隔てた竹籬の邊に身を潜めてゐると其の中に夜が明けはれて來る、隠れてゐる上の路

赤井藥師の

入佛式

今二十九日執行 警城の名刹赤井藥師は火災後の復舊工事を急いでゐるが舊七月末日の例祭日も近づいたので今二十九日(舊二十日)漸く出来上つた假本堂に往職旭大僧正により壯嚴な入佛式を執行され地方から多數の善男善女參詣した

石城地方の

米相場

五等十圓六、七十錢 石城地方の米價は政府米の拂下げや貯藏米の解除にも下値の模様なく昨今の品薄に共同

小名濱に豚

石城郡小名濱町の養豚にコレラの疑ひあるものもあり急報に接した平置から土屋枝手出職したが同地は先年石城地方に於て最も猛烈な豚コレラの流行に遭ひ殆んど全滅の慘害を受けたので各當業に非常な恐怖を投じてゐるが全郡警防注射を施された後でもあり眞菌だとしても大した被害なく済むであらうと

十七少年の

商店荒し

夏井村生れの者 石城郡夏井村の山崎字根本内三一生れ箱崎鐵之助(七)假名は本年三月平町四丁目マルトモ書店で婦人俱樂部一期を万引せるに手初め越えて四月中は同町六丁目中田つや方から女帯一本價三圓を窃取せる外平町の商店を荒してゐるの平野の探査中去る二十八日町内で逮捕取調中であるが餘罪數多あるらしいと

前石城郡好間村の河原炭礦に

書替へられて居り其の書類及び野榮の賣掛代金を集めて家出したのは計画的の逃走と見られる節が多く尙ほ同人は會て相馬郡中村町の松澤某方に養子になつたことがあるので舊姓の松澤を名乗り潜伏して居るかも知れないと

赤井藥師の

入佛式

今二十九日執行 警城の名刹赤井藥師は火災後の復舊工事を急いでゐるが舊七月末日の例祭日も近づいたので今二十九日(舊二十日)漸く出来上つた假本堂に往職旭大僧正により壯嚴な入佛式を執行され地方から多數の善男善女參詣した

石城地方の

米相場

石城郡小名濱町の養豚にコレラの疑ひあるものもあり急報に接した平置から土屋枝手出職したが同地は先年石城地方に於て最も猛烈な豚コレラの流行に遭ひ殆んど全滅の慘害を受けたので各當業に非常な恐怖を投じてゐるが全郡警防注射を施された後でもあり眞菌だとしても大した被害なく済むであらうと

農業の

品種改良の話

(三) 農試本場 天辰生
彼の晩年はかく心算多かつたけれども、更に研究の結果が認められずに死んだことは今日こんな有名な人のために甚だ遺憾と思はざるを得ない、然し彼は生前口癖のやうに「今に自分の時代が来るに違ひない」と云つてゐたやうである、正しく二十世紀になつてから彼の時代が始まつたのであつた、即ち彼の論文が發表されてから三十九年の歳月の後一九〇〇年にド・フリーズ、コレンス、チエルマツクの三人の植物学者が全く獨立に別々の所で、フリーズは玉蜀黍で、後の二者は豌豆を用ひて實驗して得たる結果が、既に三十五年前メンデルによつて立派な論文として發表されてゐることが發見されるに至つて、メンデルの業績も目の目を見ることが出来ると共に、新しい遺傳研究の時代が始まつたのである、現在では此の偉大な先驅者の業績を記念するために、世界の科學者達によつて僧院の近くの廣場に大理石の記念碑が建てられてゐる、

尤もメンデルはエンドウの研究の外に廣く各種の植物に就いて實驗觀察を行つてゐる、又蜜蜂の交配の實驗も試み、各種の女王蜂を廣くアメリカやエジプト等から蒐集したと云ふ、尙ほ氣象の觀測に興味をもち長い時間精密な觀測を行つた、
扱て、メンデルが豌豆を材料にして發見し、今日ではかくも單純な明白なる事實となつた所謂メンデルの法則なるもの、根本的なる事實はどんなものであるか、觀賞植物の種類で新しい色變りを作るために人工的に交配が行はれるが茲に報告せんとする研究はそれから思ひついて行つたのである、

となつた所謂メンデルの法則なるもの、根本的なる事實はどんなものであるか、觀賞植物の種類で新しい色變りを作るために人工的に交配が行はれるが茲に報告せんとする研究はそれから思ひついて行つたのである、

藤沼醫院

電話五〇七番

店主	が	店員
を	連	れて
か	れ	る
正	し	い
正	し	い
正	し	い
酒	場	
喫	茶	
食	堂	

平田町
レストランサロン
電話三六二

お醤油は ヤマフル

醤油味増 たっぷり正宗 鯉節食料品

山崎合名會社

電話一〇番

山崎與三郎

明治生命磐城代理店

磐城名産特賣所

御土産物には郷

石城みやげ 七濱の生産品 地元産の果實

平みやげ 名菓各種

土の名産が第一

前驛町平

産科 婦人科 長木村寅次郎

外科 醫學博士内木宗八

藥局 藥劑士立善彌一

平町新川町九一

入院隨意 病室完備

木村病院

電話一六四番

内科、小兒科

大森醫院

醫學士 大森勇

平町南町 電話二五八番

強力殺虫劑

ネオマツゾール (噴霧器付)

片腦油 (白製品)

ハイトリ粉

山野邊藥局

電話一〇番

新設、電話二二二番

何卒御利用の程を

平町紺屋町一一

上原家政婦會

(産婆) 上原通子

債券 公債 兩替 金融

多田井質店

平町大工町 電話五九二番

帝國海上火災保險株式會社

平代理店 關内 正一

電話一六番

事務取扱者 阿部助次郎

河田鐵工場

河田梅吉

電話三三九番

電話三三九番

電話三三九番

電話三三九番

百萬の富より健康

此新療法で病弱を御試しなさい

マクネトロン

治療所 飯田近治

電話一〇九

石炭 水野石炭店

電話二九九番

安田系統の帝國海上

帝國海上火災保險株式會社

平代理店 關内 正一

電話一六番

事務取扱者 阿部助次郎

内科、小兒科

高久病院

院長 醫學士 高久忠

電話三三九番